

令和2年度第1回健康横浜21推進会議 歯科口腔保健推進計画骨子（案）について各委員からの意見

資料1

	氏名	職名	意見	事務局回答
1	わたなべ 豊彦 渡邊 豊彦	横浜市医師会 常任理事	(意見なし)	—
2	まつたに 英司 松谷 英司	横浜市食品衛生協会 副会長	(意見なし)	—
3	あらきた みかこ 荒木田 美香子	川崎市立看護短期大学 教授	乳幼児期の口腔ケアの習慣の形成は、保護者がまず作っていくものだと思います。しかし、 <u>成人期に「親として子ども／家族の口腔ケアや、その生活習慣を形成する役割」を担うという意図の文言がなく、何か不足した感じがありました。</u> 成人期のところに親としての視点からの文章を入れた方が良いのではないかと思いました。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
4	あずま ひでき 遊馬 秀樹	(株)テレビ神奈川 営業本部 事業推進室長 兼 事業推進部長	第2回検討部会において、「情報発信」のテーマで意見が多く出されました。それらを踏まえ、どこかに <u>「適切な情報発信に努める」といった内容を付記しては如何でしょうか。</u> 強化して連携する取り組み項目の情報提供にある「主な連携先との適切な情報共有」のみでは弱いのではないかと感じました。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
5	おおみや あつし 大宮 淳	健康保険組合連合会神奈川連合会 事務局長	推進の計画骨子や、策定に関する基礎資料としては、この内容で異存ありません。今後、具体的な施策が大変かと思いますが、検討部会委員に委ねます。	御回答ありがとうございます。
6	かねこ のりこ 金子 規子	横浜市スポーツ協会 地域スポーツ振興部 担当課長	学術的な効果の程度が明確に分かりませんが、 <u>噛む力と体力(筋力)の相関関係から、子供たちへの啓発が有効になるのではないか</u> と思っています。プロスポーツ選手に憧れる世代の子供たちに、歯の健康＝噛む力の向上＝体力(スポーツにおける全般的な能力)向上を関連付けた取組として、例えば、小学校の学校保健委員会のテーマとして取り扱うことが出来ると思います。「歯の健康と体力づくり」が関連付けられると、当協会でも体操などの取組についてアドバイスをを行うなど協力することができます。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
7	かわの はるこ 河野 治子	横浜南労働基準監督署 署長	意見はありません。	御回答ありがとうございます。
8	さとう しんじ 佐藤 信二	横浜市歯科医師会 常務理事	意見はありません。	御回答ありがとうございます。
9	せと たかし 瀬戸 卓	横浜市薬剤師会 常務理事	ライフステージ、対象像別課題の提示は分かり易い。高齢者には口腔機能向上のため口腔体操を実施している介護施設が多い。 <u>薬剤師会としては口腔内に影響を与える薬剤の情報提供などで連携を図りたい。</u>	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
10	たかつか ひでお 高塚 秀男	神奈川県国民健康保険団体連合会 企画事業部長	原案に賛成します。	御回答ありがとうございます。
11	たなか しんいち 田中 伸一	横浜市保健活動推進員会 会長	推進計画の骨子案や取組むべき基礎資料（案）の内容は良く出来ていると思います。あとは、これを実施するための具体的な行動（案）を詰めていけるとよいと思います。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
12	たなか まさゆき 田中 正行	全国健康保険協会神奈川支部 企画総務部長	特になし	御回答ありがとうございます。
13	なかざわ あきのり 中沢 明紀	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議 会長	了承します。	御回答ありがとうございます。

	氏名	職名	意見	事務局回答
14	ななうみ らいじ 七海 雷児	横浜市PTA連絡協議会 副会長	内容もとても良いと思います。 <u>乳幼児期、小学生の保護者に広く伝えていってほしいのと、地域と歯科をつなげていくようなチラシなどもあったら良いか</u> と思います。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
15	にしだ えつこ 西田 悦子	JA横浜 組織部 組織生活課 課長	資料4-2.3.4計画（案）について特に意見はございません。計画骨子（案）に賛同いたします。 <u>「食」は生命にかかわること、歯科口腔の啓発、促進は重要な取組と考えます。</u> 食農教育から高齢者福祉、健康管理活動と取り組んでいるJAとして、さらに取組を強化・連携していければと思います。しかしながら、活動、行事が中止・延期等になっているのが現状です。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
16	はせがわ ゆき 長谷川 由希	(株)神奈川新聞社 クロスメディア営業局 広告部 課長	歯科口腔保健推進計画の骨子（案）についても賛同いたします。 特に、ライフステージ・対象像等に着眼した施策により、市民が成長・生活習慣において気を付けるべきこと、歯科口腔衛生の保持の意義などを、漠然とではなく具体的に知ることができると思います。また、 <u>歯科口腔の健康というと単に虫歯の予防と捉えがちですが、歯科口腔の健康を維持することが他の全身の疾患の予防とも関連することを周知していくためにも、歯科口腔の健康のみを啓発するのではなく、食育や糖尿病等の生活習慣病予防と連携した取組は重要だ</u> と思います。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
17	まえはし ひろし 前橋 寛	相鉄ローゼン(株) 総務人事部マネージャー	特にございません。	御回答ありがとうございます。
18	もりわけ みつよ 守分 光代	横浜市食生活等改善推進員協議会 会長	歯科口腔保健推進計画の策定に関する基礎資料（案）は口腔ケアに努める指針になると思うので、すべての市民が共有して取り組めるよう各団体が協力して啓発していけるとよい。 <u>市民が最低でも年1回は歯科検診を受けるような状況があればよい。</u>	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
19	やまもと たえこ 山本 妙子	神奈川県栄養士会 副会長	資料（4-3）について 1. I-1. 計画策定の背景では、歯科口腔分野で有しておられる、おそらく膨大な調査研究の成果があると思うのですが、これらはどの段階で科学的根拠として示されるのでしょうか？横浜市としての今までの成果と課題の部分は具体的な数値をもって表しにくい(限定しにくい)ので骨子の中では、入れないということでしょうか？ I-1（2）では検診と治療の表記しかありませんが、 <u>乳幼児期からの口腔機能（舌の動きや飲み込むちからなど）の発達発育を促す視点の記述も必要</u> かと考えました。予防歯科の観点ではどの段階から何に注視すべきなのか、市民は教えてもらいたいと願っています。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
			2. I-2 目的「市民が・・・その人らしくいきいきと暮らしていく」部分を歯科口腔分野ならではの言葉で表現していただくと、目指す姿が理解しやすく、身近に感じられると思います。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
			3. I-3（2）計画の位置づけの中に、食育推進計画が入っていません。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
			4. III-2（1）食育の推進とありますが、食育は対象やそのねらいが、個人の栄養摂取や行動変容、食環境の整備等と広範ですので（歯科分野で期待されている食育とは何なのだろうと栄養士は疑問に思います）、歯科口腔保健推進計画における目指す姿を引用して、***を目指す食育、***のための食育、といった表現ができればよいと思います。本計画の中で示される食育のイメージを具体的に教えていただくとありがたいです。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
			5. III-3（5）ア. 地域活動団体とその構成者自らが実践し、市民に対して広めていくことだと考えます。イ. 「・・・推進する視点を日常の活動に取り入れる」意図が汲み取りにくいです。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
			6. III-3（6）ウ. 「評価」ではなく進行管理ではないでしょうか？	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。
			7. IV. 部会が行うのは評価・検討までで、進捗管理とあるのは市(行政)の役割ではないでしょうか？評価指標の決定や評価のための調査など、いつどのように実施するのか、どこで公表するのかについても含めるのが計画ではないでしょうか。	御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。

	氏名	職名	意見	事務局回答
19	やまもと たえこ 山本 妙子	神奈川県栄養士会 副 会長	<p>(資料4-4について)</p> <p>1. <u>上位の目標は、広義の国民レベルでの内容・表記ではなく、横浜市民の目指す姿を、市独自の、歯科口腔保健の専門分野ならでの視点、表現で示していただくと市民も広く理解し、親近感をもつことができるのではないかと思います。</u>例えば「QOLの維持・向上」は歯科の分野では「生涯を通じて食事や会話ができる(楽しめる)」ことが、それにあたるのではないかと考えました。最下段の3つを重点目標として表記する考え方もあると考えました。</p> <p>2. 対象像別の「障害」の表記について、「障がい」が一般的ではないでしょうか。</p> <p>3. 「特徴」の段は、本計画の主題である「歯科口腔」の記述が最優先(最上段)にあるべきではないでしょうか。また、成長や発達の形態や機能、行動等の特徴と、現在抱えている保健医療の課題が混在しています。読み取る側が理解しやすいように、表記の工夫があるとよいと思いました(頭だしの・のマークをかえる、など)。</p> <p>4. 取組の方向性の欄ですが、市民の次は少なくとも歯科口腔保健に関わる専門職・団体が何に取り組むのかを、独立して表すべきと考えます。その次に「行政」「関係機関・団体」とそれぞれの役割で書かれるべきで、ひとくくりにはできないと思います。</p> <p>5. 私ども栄養士も陥りがちなことですが、本表に限らず全般的に、歯科口腔保健分野の専門職の方、先生方だからこそ見えている現実、歯や口腔の状態、ケアの状態、本人や家族の問題行動や環境の問題など、もっと先生方のリアルな言葉で表現していただけたら、この計画がもっと魅力的に感じられるのではないかと思います。専門用語という意味ではないのですが、多職種でも使うような抽象的な言葉だけではなく、<u>こういう現状がある、こういうことができていない、こういうことができるとよい、ということが多職種や市民にも具体的にわかるとありがたいと感じました。</u>会議の席で伺うご意見はいずれも興味深く、なるほどと思うことが多かったので、それらをこの計画に入れ込んでいただければ有難いと思います。</p> <p>例えば、「適切な歯科口腔ケアの習慣」は何を指すのか?その世代によっても違うと思うのですが、具体的に表していただけると理解しやすいです。素人考えですが、学齢期であれば正しい歯磨きのしかたを身につけ、習慣化することでしょうか。高齢者であれば義歯の手入れをすることなども入るのでしょうか。基礎資料には表現しきれないかと思いますが、おそらく先生方からご覧になれば、正しい歯磨きと言っても、ここがポイント!という視点がおありではないかと考える次第です。</p> <p>6. 詳細を確認できていない段階で恐縮ですが、本図で示されているキーワードは健康横浜21推進計画や食育推進計画と整合させることが望ましいと考えます。この図全体が高度に抽象化して全てのライフステージをまたぐ1本の帯になってしまうのであれば、図にする必然性は低いかもしれません。</p> <p>強化して連携する取り組みとして、かかりつけ歯科医制度の推進や、二次・三次救急歯科医療体制の推進をよりこまなくてよいでしょうか?</p>	<p>御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p> <p>御意見ありがとうございます。「障害」の表記については、現在のところ、横浜市障害者プラン策定の際に、市民の皆様からいただいた御意見を踏まえ、「障害」という表記で統一しています。</p> <p>御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p> <p>御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p> <p>御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p> <p>御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p>
20	わたなべ てつ 渡辺 哲	神奈川産業保健総合支 援センター 所長	<p>全体像は良いと思います。</p> <p>乳幼児、学齢期では歯科検診がありますが、成人期以降はないと思います。</p> <p>定期健康診断、特定健診には歯科検診が法律上は組み込まれていません。</p> <p>そこで、<u>定期健診、人間ドック、特定健診の際にオプションとして歯科検診を組み込む事が検診のきっかけとなり、二次予防に繋がるのではないかと思います。</u></p>	<p>御意見ありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p>